



2015. MARCH

第2号

緑生館同窓会

翠翔会報



みんな大人に
なったなあ～
時間の流れを感じて
しみじみ



総会 & 懇親会

緑生館同窓会「翠翔」

久しぶりに会えて
楽しかったよ!

緑生館同窓生のみなさんへ 倉富 眞

寒い日が続いていますがお元気にご活躍のことと思います。
さて、平成26年9月14日の総会と懇親会時に私の還暦祝いを頂き、ありがとうございました。早いものであれから5カ月も経ったのですが皆さんとお会いできたこと、お話したことが新鮮に蘇ってきます。皆様との集合写真は私の宝物です。家で飾っているのですが見た人たちから「とても良い写真だ。みんなが良い表情をしている。羨ましい」などの言葉を頂き、私自身嬉しさに浸っています。
1期生の方から今年卒業した同窓生に囲まれて、いろいろな思い出が頭を駆け巡りました。場合によっては保護者の方とお会いしたこともありましたが、留年が決まった学生と保護者との3者面談の席で学生が「今まで家で1時間しか勉強していなかったのでこれからは2時間するので続けさせてほしい」と話すのに対し、保護者は「バカたれ。どうして分かるまで勉強しないのだ。勉強時間を増やしても結局分からなければ、今年と同じ結果は見えてい

る」と諭されました。この席に同伴させて頂き、私もとても参考になったのでその後の学生指導時に引用させてもらっています。臨床実習の指導時に学生から「結局、先生は自分の考えを押し付けるだけで私の話を聞いていませんね」と言われたことがあります。確かに自分の考えに誘導しようとしていることに気付かせられました。学生には対象者の話をきちんと聴き、受けとめることが重要と話しています。しかし、実際の自分の行動は例外として対応していたことに気付きました。このような経験をたくさんさせていただいた事は私の財産になっていると感じています。感謝・感謝です。
同窓生の皆様も私と同様な体験をされていることでしょうか。私はこのような人との出会いが人生を彩り、幸せなものへと繋がっていくと感じています。これからもみなさんたちの人生の先輩として、職業人の先輩として歩いていけたらと考えています。その為には同窓生の皆様との協力や情報交換、連携が必要です。これからもよろしくお祈りします。

倉富先生へ伝えた “4つのありがとう”

長崎大学
産学官連携戦略本部 准教授
北島 栄二

緑生館同窓会 翠翔のみなさん。
長崎大学の北島です。同窓会の会報へ投稿の機会をもらいありがとうございます。わたしは、平成9年から13年まで緑生館作業療学科の専任教員で、四期生の担任を務めました。しかし事情により、彼らの卒業を待たずに新たな目標へ足を進めました。

その頃、福祉用具・住宅改修の普及と指導にかかわる専門職として、佐賀県介護実習普及センターからOTの求人が出ました。OTにとっては貴重な機会です。しかし、多くのOTが働く病院ではなく、県民や福祉・介護職員を対象とする新たな職域であるため、求人へ応募するOTがいませんでした。

わたしは「このままではOTが新たな職域へかかわる機会を逃すことになる」と思いました。もとより、わたしは福祉用具・住宅改修を専門としていましたし、OTが新たな職域へ挑戦できることに価値を感じました。

「どうしても自分の目標へ一歩足を進めたい。そのためには、四期生の卒業を待たずに緑生館を離れなければならぬ・・・」

とても大きな迷いを抱えました。そんな時、倉富先生から背中を押され、新たな目標へ足を踏み出すことができたのです。

先日行われた「平成26年度 緑生館同窓会、倉富先生還暦祝い」で、いままでの感謝の気持ちを倉富先生へ伝えること

ができました。“4つのありがとう”です。いずれも、目標に不安や悩みを抱えていた時期です。

- 病院で働いていたころ、これからの方向性に迷っていたわたしを緑生館へ迎えてくれたこと。
- その緑生館を離れて新たな目標に足をすすめることを応援してくれたこと。
- さらに高い目標へ向かう途中でめげそうなころ、明るい笑顔で陣中見舞いをいただいたこと。
- 私を信頼して、佐賀県在宅生活サポートセンター（旧佐賀県介護実習普及センター）の運営へ協力する機会を与えてくれたこと。

誰もが不安や悩みで足が進まないことがあります。気持ちが整うようにじっくりと話を聞き、結果として、最後には自分で決断ができるように促してくれる。そんなムードを持つ倉富先生に感謝です。

この投稿を読むみなさんの中にも、日々の忙しさの中でいつのまにか薄れる目標に、不安や悩みがある人がいませんか？

普段の中では、なかなか目標へ足を踏み出す促しが得られないでしょう。

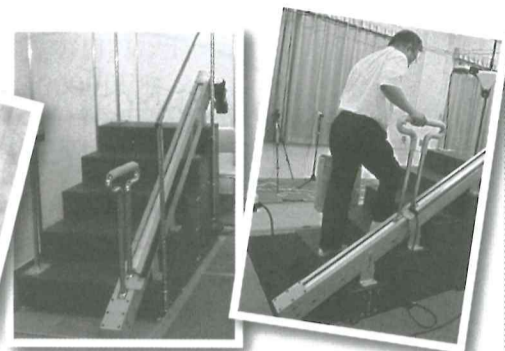
同窓会の知らせに目を留めるだけでなく、みなで集う機会を通じて、背中を押される機会を得てみませんか。普段は会えない大切な恩師や同窓生が待っていますよ。最後に私自身の近況をお知らせします。



長崎大学（産学官連携戦略本部）に研究員として勤め、斜面市街地に居住する高齢者の外出支援を目的に、企業と歩行支援用具を開発しています。まだまだ目標半ば。これからも頑張ります！

●開発品／階段昇降アシスト手すり Saruku（サルク）

通常、T字杖や多点杖を使った階段昇降では「体が大きく傾き怖い」「杖先が不安



定になり、バランスを保てるかが不安」と言われます。また、住宅改修の手すりには、「手すりから手を放す・握る」「肘を曲げて体を引き上げる」など、不安定な動作を繰り返します。

Sarukuは、モーターで駆動する「動く杖」です。グリップを軽く握り、肘を伸ばすとスイッチが入り、緩めると止まります。住宅改修の手すりのようにグリップから手を放すこともなく、T字杖や多点杖よりもバランスの崩れが少ないのが特徴です。階段を安心して昇降することができます。

研究室のホームページでは、開発品階段昇降アシスト手すりSaruku（サルク）の情報を更新しています。動画もありますので、ぜひご覧ください。

長崎大学 北島栄二研究室
www.facebook.com/nagasaki.kitajima



2014年（平成26年）活動報告

平成26年4月1日から
平成26年12月31日まで

学術部

卒後研修会の開催

①第15回卒後研修会

日時／平成26年7月6日(日)10:00～15:00
会場／医療福祉専門学校 緑生館
研修内容および参加者／

①脳卒中片麻痺患者の評価と治療：参加者25名
講師：坂口 重樹 先生
(誠愛リハビリテーション病院 理学療法課 理学療法士)

②16回卒後研修会

日時／平成26年9月14日(日)13:00～17:00
会場／医療福祉専門学校 緑生館
研修内容および参加者／

①早期退院促進プログラム開発及び地域支援体制の構築：参加者18名
講師：田尻 威雅 先生
(桜ヶ丘病院 作業療法部 作業療法士)

②臨床で活かす筋の触察法：参加者21名

講師：田平 陽子 先生
(久留米大学医学部医学科 解剖学講座 理学療法士)

事業部

交流会補助金支援

今年の支援申請は1件。
同窓会(臨床情報交換・親睦)：参加者13期PT17名
日時／平成26年9月27日
支援金／17,000円

福利部

①卒後研修会懇親会の開催

日時／平成26年7月5日(土)
会場／やまだ(鳥栖市)
参加者／13名(講師1名を含む)

②緑生館同窓会懇親会の開催

日時／平成26年9月14日(日)
場所／ホテルニュープラザ久留米(久留米市)
参加者／90名

③第8回 緑生館カップ(サッカー)支援

日時／平成26年7月26日(土)
場所／鳥栖市陸上競技場(鳥栖市)
参加者／卒業生及び緑生館在校生

④第5回 同窓会翠翔杯(ゴルフコンペ)支援

日時／平成26年4月19日(土)
場所／北九州カントリー倶楽部(飯塚市)
参加者／10名

⑤第6回 同窓会翠翔杯(ゴルフコンペ)支援

日時／平成26年11月29日(土)
場所／プリヂストンカンツリーゴルフ倶楽部(鳥栖市)
参加者／10名

広報部

①緑生館同窓会「翠翔」のホームページの管理・運営

②緑生館同窓会「翠翔」Facebookの管理・運営
公式Facebookページへの「いいね!」が100を超えました。

事務局

①代議員会議の開催

①第8回代議員会議
日時／平成26年6月14日(土)19:00～20:00
会場／医療福祉専門学校 緑生館
参加者／小山会長、古賀(6OT)、中島(7PT)、西川(7OT)、四海(8PT)、松本(8OT)、山口(9PT)、定松(11PT)、宮岡(11OT)、佐藤(12PT)、土師(12OT)、福島(13PT)、吉村(13OT)、小林(14OT)、酒井(15PT)、高尾(16PT)、大坪(16OT)、内山、熊谷(19名)
内容／平成25年度事業・決算決議 ⇒ 代議員にて承認

②各期代表者会議の開催

①平成26年第1回各期代表者会議
日時／平成25年6月14日(土)17:30～19:00
会場／医療福祉専門学校 緑生館
参加者／大社副会長、光武、中島、日野、橋口、小野、谷口、竹井、政所、江越(10名)
内容／第15回卒後研修会打ち合わせ(役割など)

②平成26年第2回各期代表者会議

日時／平成26年8月29日(金)19:00～20:00

会場／医療福祉専門学校 緑生館
参加者／大社副会長、松尾、谷口、島ノ江、内山、村岡、政所、江越、北島、熊谷(10名)

内容／
1. 第16回卒後研修会打ち合わせ(役割など)
2. 平成26年懇親会打ち合わせ(役割など)

③理事会の開催

①平成26年第1回理事会
日時／平成26年12月18日(木)19:00～20:00
会場／医療福祉専門学校 緑生館
参加者／大社副会長、光武、田平、島ノ江、内山、竹井、村岡、政所、江越、北島、熊谷(11名)
内容／平成27年同窓会事業企画案

④定期総会の開催

日時／平成26年9月14日(日)18:30～18:50
会場／ニュープラザホテル久留米
内容／平成25年度事業決算および平成26年事業予算の報告

⑤会員異動の把握および名簿管理、会員からの連絡窓口および事務窓口



2015年 医療福祉専門学校緑生館 卒業研修会のご案内

第17回

- 開催日：平成27年7月5日(日)
- 場所：医療福祉専門学校 緑生館
- 時間：■午前の部10:00～12:00(受付9:30)
■午後の部13:00～15:00
- 対象：医療福祉専門学校 緑生館
同窓会会員 50名
※1～7期卒業生の参加の場合は、参加費500円頂きます。その他同窓会会員以外で参加希望の方はメールにて学術担当の江越まで別途お問い合わせ下さい。
※足底板での実習で使用する材料代を別途徴収させていただきます。

●申込み締切日：

平成27年6月26日(金)

- 講師：野田 彰 先生
(済生会福岡総合病院 理学療法士)
- 原 信二 先生
(福岡豊栄会病院 リハビリテーション科長 理学療法士)

●テーマ：「入谷式足底板での治療(仮)」

今回は、入谷式足底板での治療法について、野田先生、原先生の二人の先生をお招きして、ご講義して頂きます。野田先生、原先生共に入谷式足底板セミナーの講師として普段からご活躍されており、足底板に対して非常に精通されている先生方です。講義では、入谷式足底板での治療法が初めての方にも解るように、入門レベルからご講義して頂く予定です。講師の野田先生からの要望もあり、実際に参加者が足底板を作成し、体験する実習も踏まえて講義をさせて頂きたいとのことから、実習を踏まえてご講義して頂く予定になっております。足底板を臨床で使用したいけどどのようにすればよいか分からない方、足底板の対象となるような方を臨床で治療されている方などは、是非参加されてみてはいかがでしょうか。多数のご参加をお待ちしております。

第18回

- 開催日：平成27年10月4日(日)
- 場所：医療福祉専門学校 緑生館
- 時間：■午前の部10:00～12:00(受付9:30)
■午後の部13:00～15:00
- 対象：医療福祉専門学校 緑生館
同窓会会員 50名
※1～7期卒業生の参加の場合は、参加費500円頂きます。その他同窓会会員以外で参加希望の方はメールにて学術担当の江越まで別途お問い合わせ下さい。

●申込み締切日：

平成27年9月25日(金)

- 講師：中野 英樹 先生
(大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 講師)

●テーマ：「脳卒中患者における リハビリテーション介入における脳機能の変化」

近年、脳画像研究が進んできており、動的バランスを保持するために補足運動野の活動が向上するなどリハビリに関係する脳活動も明らかになりつつあります。しかし、臨床の現場では、補足運動野が活動したからなに？と疑問を感じることも少なくありません。セラピストにとっては、普段行っているような様々なリハビリテーションによって脳がどのように変化するのか理解することが非常に重要だと思います。そこで今回、脳卒中の脳機能について研究されている中野先生に講義していただく予定です。中野先生は臨床から学術振興会の特別研究員を経て、オーストラリアに脳機能研究を学びに留学されていました。現在は、現職を務めながら畿央大学の客員研究員も行われています。研修会では、国外の最新の知見から臨床に落とし込める情報まで、臨床に大きく貢献できる講義になると思います。多数のご参加をお待ちしております。

申し込み方法



参加希望の方は下記のQRコード、もしくは緑生館同窓会ホームページよりお申し込み下さい。FAXをご利用の方は、同窓会ホームページに添付のFAX用紙にて、①氏名、②職種、③卒業期、④施設名、⑤連絡先電話番号及びFAX、⑥希望の研修会テーマを明記の上、医療福祉専門学校 緑生館 同窓会学術部(担当:江越 正次郎/FAX 0942-84-0768)までお申し込み下さい。なお、卒業生以外の方で参加ご希望の方は、江越の方までメールにて別途お問い合わせ下さい。

※同窓会費(1万円)未納の方は受付時に納入をお願い致します。◎お問い合わせ:医療福祉専門学校 緑生館 同窓会学術部 担当:江越 正次郎
TEL 0942-84-5100 FAX 0942-84-0768 E-mail s.ego@ryokuseikan.ac.jp ※問い合わせは、メールでお願い致します。

卒業研修会に 参加して

山のサナーレ・クリニック
地域支援課 訪問「願いのなる木」
末次 智子

緑生館、作業療法学科2期生の末次智子です。
昨年の卒業研修会(「早期退院促進プログラム開発及び地域支援体制の構築」講師:田尻威雅氏)で司会をさせて頂きました。

OTプログラムを中心に地域移行支援をチームで行なってこられた実例、訪問の実例、実際の場面を視覚的資料として多く紹介してくださいました。さらに、ドイツでの研修経験紹介や地域貢献に向けての取り組み等バリエーションに富んだ内容でとても楽しく研修させていただきました。最後には、参加者の日頃の仕事の悩みを質問し、充実した時が過ぎました。

世の中には、フリージャーナリストやフリーアナウンサー等、積み重ねた経験を活かし、フリーランスでお仕事をされている種々の職種があります。OTも発展を続けてゆく中でフリーOTという可能性を展望・飛躍できるようなワクワクした気持ちが胸に残りました。

懐かしい同級生や先輩、後輩とのつながり・交流も楽しみの一つです。皆さんもぜひ足を運んで楽しんで研修しませんか。



同窓会役員選挙のお知らせ

平成27年3月吉日
緑生館同窓会「翠翔」
選挙管理委員長 前田 憲志

公 示

同窓会翠翔会則第13条に基づく平成27年12月31日の役員任期満了に伴い、同窓会細則による役員選挙を下記のとおり公示する。

1. 役職名と定数

- ①会長 1名
- ②副会長 2名
- ③理事 4名以上12名以内
- ④会計 2名
- ⑤監事 1名

2. 立候補の届出について

- ①方法
(同窓会翠翔会則および細則を参照のこと)
●立候補は正会員であれば誰でも可能である。
●立候補する者は、立候補届(様式自由)を期間内に緑生館同窓会事務局宛てまで届け出る事。

②受付期間

●平成27年4月1日(水)～平成27年8月31日(月)まで。当日の消印を有効とする。

③届出先

〒841-0074 佐賀県鳥栖市西新町1428-566
医療福祉専門学校緑生館内
緑生館 同窓会翠翔 事務局 宛

3. 選挙について

①投票できる会員
平成27年4月1日現在で、緑生館同窓会に所属している全ての正会員。

②投票の方法

直接無記名での投票とする。なお、投票日は平成27年10月4日(日)の卒業研修会当日の総会時とする。

以上

第9回 緑生館カップ(サッカー試合)のご案内

緑生館同窓会主催のサッカー大会である『緑生館カップ』を右記のとおり予定しております。今年も会員様のご協力により、開催予定です。この行事が会員の皆様の一層の親睦を深める機会になります事を願っております。

また、サッカーの試合の後は懇親会の開催も予定しております。先輩と後輩の繋がりをつくり今後の人脈作りの為にも、どうぞふるってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

- 日時: 平成27年7月中旬開催予定。
※決定次第HPにアップします
- 場所: ベストアメニティスタジアム(仮)
- 会費: 100円 <http://urx.nu/4ace>
- 大会概要: 緑生館学生 VS 緑生館卒業生
- 参加資格: 緑生館在校生、または緑生館卒業生の理学療法士・作業療法士
- 参加方法: 上記QRコードより、緑生館カップ(サッカー試合)の参加手続きをお願い致します。当日の運営をスムーズに行うためにも必ず事前申し込みをお願い致します。
- 連絡先: 医療福祉専門学校緑生館同窓会「翠翔」事業局
政所 和也 TEL:0942-84-5100



同窓会ゴルフコンペ『翠翔杯』

平成27年の翠翔杯は、これだあああ!!!

☆第7回 翠翔杯(ゴルフコンペ)☆

- 開催日: 平成27年5月9日(土)
- 場所: プリズトンカンツリー倶楽部(鳥栖市)
- 費用: 13,000円程度
- 申込み期限: 平成27年4月24日(金)

☆第8回 翠翔杯(ゴルフコンペ)☆

- 開催日: 平成27年10~11月予定
※決定次第HPにアップします

- 場所: 筑紫野周辺のゴルフ場
- 費用: 13,000円程度

※詳細が決定次第、参加者へご連絡差し上げる形態をとらせて頂きます。まずは、参加の申し込みを受け付けさせていただきます。何卒、ご了承くださいませよう、よろしくお願い致します。

- 担当/政所(k.mado@ryokuseikan.ac.jp)
北島(y.kita@ryokuseikan.ac.jp)



ごあいさつ

同窓会初代会長 作業療法学科 1期生 堀 恭介

緑生館卒業生の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。仕事に、生活に、それぞれの分野で腕を振るっていらっしゃると思います。

私は、緑生館を卒業した後は、あつという間の16年であったように感じます。卒業後、右も左もわからない中、第1期の同窓会の会長をさせていただきましたが、当時は「同窓会って何? 何するもの?」みたいなところからのスタートであり、随分と周囲の皆様にご迷惑をおかけしていたんだらうと、今になって思っています。

しかし、現在はその組織も、歴代の役員の方々や先生方のご尽力により、充実した組織に変貌を遂げ、卒業生同志が繋がり合え、向上し合えるものになったと感じています。皆様、卒業しても、共に学んだ仲間どうし、同窓会を使って、たまには会って、エネルギーを補給し、互いに元気をもらいましょう!またどこかでお会いしましょう!



平成26年 緑生館同窓会「翠翔」懇親会
～倉富先生 還暦祝い～

あのセブンイレブンが...

緑生館、理学・作業療法学科の開校とほぼ時期を同じく営業を開始したセブンイレブン競馬場前店がこの度移転することになりました。緑生館の卒業生なら色々な思い出があるのではないのでしょうか?

そこで、オーナー&店長の山田夫妻にお話を伺ってきました。

オーナー(写真右)「アルバイトもお客さんもほとんど緑生館でもっているようなもので、夏休みや春休みは売り上げが全然違うんです。特にアルバイトでは感心することが多く、今時ないくらいきちんとした学生が多い印象です。お店でお客さんが倒れた時は、救急車が来るまで冷静に対応してくれたり、トイレの掃除も率先してやってくれたり、卒業するときには引継ぎで後輩を紹介してくれたり、どこでも人手で苦労しているけどうちは恵まれています。お世話になったのは本当にこちらの方です。」

店長(写真左)「アルバイトの子もお客さんも緑生館の生徒さんとは親心で接していました。色々なことを教え合って、人が育っていくところを見ることが出来ました。今の4年生が卒業する前に店の移転が決まった事が心残りです。」

違反駐車やお酒を飲んで騒いだり…。色々とお迷惑はおかけしたはずですが、こんなにも学生の事を気に掛けて頂いていたとは知りませんでした。長い間、学生の食と生活を支えて頂き有難うございました。なお新店舗は、34号線を西へ600m。店名を鳥栖石町店に変えて営業しています。お店も新しくなったのでぜひお越し下さいとのことでした。



緑生館同窓会「翠翔」からのお知らせ

1 交流会補助金支援について

皆さんは1年に1度だけ、同窓会より補助金がもらえることをご存じですか?卒業生同士の集まり(10人以上)であれば何でもOK!この制度が交流会を開催するきっかけになれば幸いです。「久しぶりに先生に会いたいな〜」「同期でBBQをやる!」「サークル仲間とキャンプへ」など計画している方は、是非「交流会補助金制度」をご活用下さい。10人で10,000円、30人で30,000円……卒業生のお財布に優しいこと間違いなしです。



リョクカンの卒業生同士で集まろう!
知ってる人は得をする!
上手に活用
「交流会補助金制度」!!

●交流会補助金制度について

- ①交流会補助金制度は、本校卒業生であれば誰でも支援を受けることが出来る。
- ②交流会補助金制度は、本校卒業生の交流のために活用することが出来る。
- ③交流会の規模は本校卒業生10名以上の参加者で補助金支援を受けることができる。
- ④1人あたりの支給額は1,000円で、年に1回限りとする。

【詳細についてはHPをご参照下さい】

【上記のお問い合わせ】

事業部/村岡 明美(緑生館) a.mura@ryokuseikan.ac.jp

2 会費納入のお願い

緑生館同窓会「翠翔」は、1年間に1,000円の会費を卒業時に10年間分一括納入いただくことで活動が成り立っています。同窓会費は、主に卒業生支援や研修会開催費、管理活動費などに使用し運営しています。まだ会費納入が出来ていらっしゃらない方は、会報と一緒に振込用紙を同封しております(納入されていない方のみ同封しております。)ので、納入のご協力をよろしくお願い致します。また、学校への持参でも納入できます。皆様の会費で活動を行うことができています。必ず会費納入をお願い致します。(財務部)

3 異動・変更届けの手続きについて

卒業生の皆様方へ。職場の異動や連絡先の変更、また結婚後の名字の変更などがございましたら速やかに同窓会事務局までご連絡下さい。

手続きの方法は必要事項(①氏名、②卒業期・学科、③職場異動の場合は、新所属施設名および住所、氏名変更の場合は旧姓および新姓、を記載)に上、FAX(緑生館:0942-84-0768)および緑生館同窓会「翠翔」のホームページ、また右記QRコードからも変更可能です。事務局としても会員の皆様方の正確な情報を把握し適切に情報を提供していきたいと思っておりますので、ご協力を宜しくお願い致します。

問合せ先:事務局/熊谷 隆史:t.kuma@ryokuseikan.ac.jp

*本会報が届いていない同窓会の会員をご存知の方は、同窓会事務局に連絡するよう伝えてください。連絡先の確認が出来次第郵送します。



4 緑生館卒業生主催の研修会案内広告の募集

卒業生の支援の一環として、卒業生主体で開催している勉強会などの団体を広報誌で紹介したいと考えています。掲載を希望する団体は同窓会事務局までご連絡ください。(広報部)

日増しに春めいてまいりましたが、皆さまお変わりなくお過ごしのことと存じます。さて、緑生館理学療法学科・作業療法学科では3月に17期生が卒業し、4月には21期生が入学します。新1年生は1期生の先輩方から見るとなんと20期後輩ということになります。また、同窓会「翠翔」も2001年9月23日の設立から14年が経過しようとしています。これまでの歴史の中で積み上げてきたものは沢山ありますが、「1,100名を超える卒業生の多くが同業者として活躍している」これこそが学校として、そして皆さまにとって一番の財産だと思います。私は2期生ですが、1年生の概論実習の時には、現場に先輩がいる訳もなく、「へえ〜そんな学校が出来たんだ」と言われたこともあります。また、緑生館の名前を揶揄され、植木屋か

と言われたこともあり強い敗北感を覚えた思い出があります。今となってはそんなこともないでしょう。昨年9月に開催された倉富先生の還暦祝いでは、改めて緑生館の卒業生で良かったと思えました。

平成27年は同窓会会長以下役員の任期満了に伴う役員選挙も行われます。緑生館本学の教員も新旧交代で新たなスタートを切ろうとしています。これまでの歴史を継承しつつ、より良い状態にしていくために頑張っていかなければと思っています。普段意識をすることはあまりないと思いますが、時々思い出す、それが母校です。字のごとく母親的な存在です。いざという時にはご遠慮なく母校を頼って下さい。同窓会はその窓口です。

同窓会翠翔広報部 竹井 和人

医療福祉専門学校 緑生館

【緑生館同窓会「翠翔」事務局連絡先】
〒841-0074
佐賀県鳥栖市新町1428-566
医療福祉専門学校 緑生館 理学・作業療法学科内
TEL:0942-84-5100 FAX:0942-84-0768
Mail:suisho@ryokuseikan.ac.jp

HP:<http://suisho-ryokuseikan.jimdo.com>
FB:www.facebook.com/R.suisho